



【校訓】 生命かがやく子 ~自ら学び 心豊かで 健康な子~



新学習指導要領
福井県教育振興計画
越前市教育振興ビジョン
県学校業務改善方針

《学校教育目標》 共生を目指した温かい人間関係作り
-南小学校に関わるすべての人たちが、思いやりと話し合いによってよりよい関係を築くことができる。-

【めざす児童像】	【めざす教師像】	【めざす学校像】
① 自分の考えをわかりやすく伝えられる子	① 児童やクラスが大好きな教師	① 学ぶ喜びが味わえる学校
② 思いやりとたくましさを持つ子	② わかる授業を求め続ける教師	② 豊かな心が育つ学校
③ 進んで挑戦し最後までやり通せる子	③ 柔軟な発想のできる教師	③ 地域が誇りに思える学校

【重点目標】

《A 確かな学び》

- ◎対話のある深い学びの追究
- 「めあて」～「振り返り」のある授業実践
- 読書習慣から主体的な読みの育成

《B 温かい人間関係》

- ◎いじめのない人間関係づくり
- 互いの違いを認める集団育成
- 児童がやりがいを感じる活動の精選

《C 豊かな心と強い体》

- 特別支援教育の推進
- 運動好きな子の育成
- 健康な生活リズム・食生活の定着
- ◎命の教育の充実

《D 家庭・地域との連携》

- ◎地域と関わり合える学校づくり
- 双方向による情報の発信・受信
- 学校行事にかかる負担軽減
- スマートルール作りの啓発

【具体的取組】

① 主体的・対話的で深い学びのある授業を追究し、一人1授業や学校公開、学年部会を利用して学期に1回授業をする。

② 基礎基本が定着する授業形態を伝承し、クラス格差を生じさせない校内OJTの機会を、学年ごとで年間5回設ける。

③ 「読書の町宣言」を活かし、読ませたい本・読みたい本が近くにある読書環境を整え、児童・保護者の読書満足度を80%にする。

① いじめ根絶のため、保護者の協力も得ながら全員で情報を共有化し、チームで動けるよういじめ防止研修を年間3回行う。

② 構成的グループエンカウンターを月2回実施することで、一人ひとりのよさを互いに認め合える学級・学校に育て、クラス満足度を90%にする。

③ 計画から実施まで児童が主体的に関わる、学級や学年・全校の活動を積極的に支援し、年間3回実践させる。

① 学級で個別支援の必要な児童を見逃さず、声をかけることで自尊心を持たせ、居心地のいい学校と90%が思えるようにする。

② 体育や休み時間、放課後活動さらには自宅で進んで体を動かそうという意欲を高め、運動好きを80%に引き上げる。

③ 基本的な生活習慣(早寝早起き朝ご飯・ノーゲーム・目と歯の健康)を80%の児童に確立する。

④ 命の大切さを伝える道徳教育を教育活動全般で推進し、100%の児童が命を尊重できるようにする。

① 地域の人たちと触れ合う活動を、計画的に年間3回行う。

② お便り・HP・緊急メールで情報を発信し、確実に受信してもらえるよう工夫することで、情報伝達満足度90%にする。

③ 家庭・地域・学校協議会の意見を取り入れ、学校行事に関わる働き方改革を推進することで、PTA・子ども・教職員が負担を軽減し行事満足度80%にする。

④ SNSによるトラブル防止のために、スマートルールづくりを各家庭に浸透させ、90%の児童がルールを守れるようにする。

※(働き方改革) 何を どこまで どのように
◎業務を19時30分までと決め、仕事の効率化を全教職員が真剣に考え行動に表す。

本年度の研究テーマ 『互いに認め合い、考えや思いを伝え合うことができる児童の育成 ~「聴く」しかけを意識した授業づくり~ 』

